

## 書塾の仲間たち

第 238 回

### おうらまち 愛（群馬県邑楽町）

<p>新 しい クラ スの 友達 と、 仲良 くお 花見 に 出かけ ました。</p>	<p>千 枚田 はそ の美 しさと ともに、 昔ながらの 農耕法 も伝えて います。</p>
<p>学年 小六 実績賞 級 一級 氏名 牧口夢華</p>	<p>学年 小六 実績賞 級 一級 氏名 牧口夢華</p>
<p>君がため 春の野に出でて若菜摘む わが衣手に 雪は降りつゝ</p>	<p>アジサイは土の酸度 によって、色が変わる ことが知られている。 うつくしや 雲一つなき 土用空 ニッコウキスゲという 高山植物は、山ぶき色 の大きな花です。</p>

●書塾からひとこと●

毎年、冬になると白鳥が飛来する自然豊かな群馬県邑楽町で、私たち活動しています。

およそ三十年間、ご指導を受けていた松本惠美子先生の教室から独立し、令和四年四月に書道教室を新たに開設しました。現在の教室の生徒は、ひとりです。

私自身、仕事をしながら八段の合格を目指して励んでいます。松本先生の個人レッスンで日々努力していたところ、「他の人に教えることは、巡り巡って自分のためにもなるので、ぜひ教室をやってみませんか」と誘っていただきました。まずは小学生の孫の指導から始めてみることにしました。

今の小学生は他の習い事などで忙しく、平日はなかなか時間が取れないので、土曜・日曜・祝日の空き時間を利用して一緒に励んでいます。小学生に長時間指導するのは難しいので、図書館などいろいろな場所を利用するようにして、環境を変える工夫をしながら、集中力を高められるような指導を心がけています。

孫と一緒に硬筆を始め、今は少しでも時間が確保できると、孫から連絡しててくれるほどになり、稽古は二人にとって楽しみな時間となりました。

徐々に生徒の人数を増やしながら、書道に楽しく励んでもらえるようになってほしいと思います。

愛

諏訪小百合

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。

わたしは、絵をかいたり字を書いたりすることが好きです。字をていねいにきれいに書きたいと思って、こうひつをならいはじめました。お手本をよく見ずにすらすら書いた時は、へろんとした字になってしまい、先生にちゅういされます。お手本をよく見なかつたからだと思い、二回目は先生に教えてもらつたことを考えながら、ゆっくり、ていねいに直していきます。そうして上手に書けて花丸をもらえた時は、とてもうれしい気になります。ちゃんとできただんだと思い、「つきもお手本みたいな字を目指して書こう」と心にちかいります。それにお友だちががんばっているのを見ると自分もがんばろうと思います。

わたしの教室はみんな親子でならつてるので、大人の字を見て「自分もあんなふうに上手に書きたいな。」と目標ができます。わたしは、えんぴつのもち方が時々おかしくなつてしまつので、正しくもてるようになります。また、ひらがなだけでなく数字やカタカナ、かん字も上手に書けるようにがんばります。

これからは、もっといいねいに書くことと、えんぴつを正しくもつことをいきしながら書こうと思います。いつか、かきぞめのだいひょうになるくらい上手な字を書けるようになりたいです。

わたしは、絵をかいたり字を書いたりすることが好きです。字をていねいにきれいに書きたいと思って、こうひつをならいはじめました。お手本をよく見ずにすらすら書いた時は、へろんとした字になってしまい、先生にちゅういされます。お手本をよく見なかつたからだと思い、二回目は先生に教えてもらつたことを考えながら、ゆっくり、ていねいに直していきます。そうして上手に書けて花丸をもらえた時は、とてもうれしい気になります。ちゃんとできただんだと思い、「つきもお手本みたいな字を目指して書こう」と心にちかいります。それにお友だちががんばっているのを見ると自分もがんばろうと思いません。

わたしの教室はみんな親子でならつてるので、大人の字を見て「自分もあんなふうに上手に書きたいな。」と目標ができます。わたしは、えんぴつのもち方が時々おかしくなつてしまつので、正しくもてるようになります。また、ひらがなだけでなく数字やカタカナ、かん字も上手に書けるようにがんばります。

これからは、もっといいねいに書くことと、えんぴつを正しくもつことをいきしながら書こうと思います。いつか、かきぞめのだいひょうになるくらい上手な字を書けるようになりたいです。

### 絵や字をかくことが好きです

東京都葛飾区立住吉小学校二年 **及川 はな**

学年	幼 小	○
現段級	小一	
級		
氏名	及川 はな	



### 私と書写書道 第238回

#### もつと書道の力と心の力を強くしたい

広島県熊野町立熊野第二小学校六年 **宮岡 美楽**



私は二年生の時に書道を始めました。お父さんが書道をしていましたと聞いたことがあります。いとも習っていたので興味を持ち、お姉ちゃんと一緒に習い始めました。

初めのころは、どうやって書いたら上手に書けるのか全く分かりませんでした。でも、できないところを先生が一つついでに教えてください、少しずつコツをつかめるようになって、前よりも上手に書けるようになりました。すると、先生や家族がほめてくれるようになってとてもうれしくなり、どんどん書道が大好きになりました。

学年が上がるごとに難しい課題が増え、うまく書けずなみだを流すこともありました。それでも、あきらめずにおかげ古を続けてるうちに今では、難しい課題でもコツをつかめたときは上手に書けるようになりました。それに、色々な書の大會で賞をいたぐことができ、家族や友達からも、「すごいね。よくがんばったね。」とほめもらいました。そのときに私は、もっと上手になつて書道の力も自分の心の力も強くしていきたいと思いました。

ここまで書道を続けてこられたのは、いつもご指導してくださる先生や、近くで支えてくれる家族、書道を一緒にけい古している友達など、たくさんの人のおかげだと思います。

上手に書けないこともたくさんあるけれど、みなで支えあいながら、一生けん命これからも書道にはげもうと思います。